



"沖縄国際海洋博覧会"を知っていますか？

沖縄国際海洋博覧会は、1975年（昭和50年）に沖縄県本部町で、日本本土復帰を記念して開催されました。「海—その望ましい未来」をテーマに183日間にわたって開催された博覧会には、多くの人が訪れました。当時の最先端技術を駆使した機器や施設、様々な国のパビリオン、特に海洋博のシンボルとして海上に建設されたアクアポリスは、「未来の海上都市」を体感できるとして大きな注目を集めました。



未来の海上都市 アクアポリス（映像提供：シネマ沖縄）

50周年を記念した企画展開催中！ 海洋博の魅力を再発見！

海洋博当時を知る世代だけではなく、多くの世代に対して海洋博の魅力を伝えるとともに、当時思い描いた未来に対し



企画展展示

て現在まで、どのような変化・変遷をたどり、そして未来に向かってどう発展できるのかを考える機会になることを目的としています。

会場では、開催中の様子などを記録映像やパネル展示で紹介するほか、未来の海上都市「アクアポリス」の模型、当時のユニフォームなど海洋博関連グッズを展示しています。

海洋博開催からの沖縄観光を振り返り、そして未来へ… シンポジウム開催！

海洋博開催をきっかけに、沖縄の交通網が発達し、数多くの観光施設やホテルが建設されました。今では、沖縄を訪れる観光客数は、海洋博開催前に比べて10倍以上に増加し、観光は沖縄の主要産業の一つとなっています。

これからも、沖縄観光の魅力を磨き上げ、訪れる人々だけでなく、沖縄に住むすべての人が魅力を感じ、暮らしや生活の幸せに繋がるような沖縄観光を目指していきます。

8月に開催するシンポジウムでは、海洋博開催時の様子を収めた映像上映や、基調講演、パネルディスカッションなどを通して、海洋博を振り返り、沖縄観光の現在と未来について皆で考えるきっかけとなる内容となっています。ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

※事前の参加申込が必要となります。また、オンラインでも配信します。詳しくは県ホームページをご確認ください。

海洋博覧会から50年の軌跡と、未来への航路。

EXPO'75
海—その望ましい未来
The Sea We Would Like to See

50

首里城公園
会場 喜望峯 レビューホール
令和7年6月6日(金)～9月28日(日)

海洋博公園 OCEAN EXPO PARK
会場 海洋文化館 つむぎホール
令和7年7月18日(金)～12月21日(日)

特設サイト
こちら

当時とそれから 50年を振り返る

ユニフォーム ジオラマ グッズ

特設サイト

観光立県沖縄の契機となった“海洋博”から50年 ソフトパワー（自然・歴史・文化）の活用による “今”と“未来”の沖縄の姿へ

日時：令和7年8月21日(木) 午後3時開始
場所：県立博物館・美術館 講堂

●プログラム

基調講演、パネルディスカッション、学生によるプレゼンテーションなど

●お問い合わせ先

シンポジウム運営事務局

電話：098-862-5122

Email：kaiyo.sympto@gmail.com



県ホームページ

問い合わせ

観光政策課

電話：098-866-2763

